

「蓬原小学校の蓬原中野棒踊り伝承活動の取組」

1 学校名

志布志市立蓬原小学校

2 学年・人数

志布志市立蓬原小学校	児童	4年生	11名		
		5年生	7名		
		6年生	10名	計	28名

※ 蓬原中野自治会 十数名

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

9月 3日(木), 16日(木), 24日(木) 5校時

蓬原小学校体育館・校庭

保存会に指導を依頼し、講師を派遣していただき、校庭で本格的な練習を3日間実施した。

(2) 発表の場所・日時

平成27年9月27日(日)

蓬原小学校・蓬原校区公民館合同秋季運動会

※ 演技予定時刻：14：20頃

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

蓬原中野棒踊り(ふつはらなかのぼうおどり)

(2) 由来

元々は、垂水市で島津義弘公の戦いの勝利を祝って始まった。2列縦隊の棒踊りは、150年前頃から伝わっているが、3列縦隊の棒踊りは、50年前ぐらいから踊られている。現在は、蓬原中野自治会の棒踊り保存会により、次世代へ継承されている。

(3) 構成等

本来は、短尺棒と長尺棒の2部構成。

運動会では、短尺棒の踊りを、保存会の生の歌で踊る。また、子どもたちが踊った後に、蓬原中野自治会の保存会が踊る。

5 保存会や地域との連携の具体

10年前から、小学校・校区公民館合同運動会で、小学4～6年生による棒踊りが披露されるようになった。毎年、運動会前に蓬原中野自治会の棒踊り保存会が子どもたちに指導している。

今年も9月3日、16日、24日の3回、蓬原中野棒踊り保存会による指導を受けた。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

練習の時間が少ないので、DVDで踊りを見せ、子どもたちが覚えられようようにした。また、体育館での練習では、床を傷つけないよう、棒の先

端に布を巻き付けさせた。子どもたちの棒に対する恐怖心をなくす効果もあった。

運動会では、子どもたちが扱いやすい短尺棒による踊りを発表した。発表の際は、児童全員が棒踊りの衣装に着替えて演技を行った。但し、衛生面や安全面から、裸足ではなく運動靴を履かせた。運動会当日の着替えは、保存会や保護者に協力をお願いした。

基本的に2人組で演技するため、怪我で踊れない児童の変わりを含めて人数調整で職員が参加する。今年は、4～6年の担任3名が参加した。なお、骨折のために踊れない児童1名は、大太鼓を叩かせた。

7 取組の様子

(1) 上級生から下級生へ



(2) 保存会の方々の指導



(3) 運動会での発表



(4) 保存会による演技



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【児童】

- ・ 去年までは、運動会で先輩達の棒踊りを見るだけだったが、今年は、自分たちが踊れるので楽しみだった。足の動きと三人組は難しかったが、上級生や保存会の上野先生が、お手本を見せながら教えてくれたので、できるようになった。運動会の本番は、少し緊張したけど、おじいちゃんが「上手だったよ」と言ってくれてるので、嬉しかった。来年は、自分たちが、優しく下級生に教えたい。(4年男子)
- ・ 兄が棒踊りをするのを見て、自分も踊りたいと思っていた。上野先生は、「声が出ている。」「手の動きがいい。」と誉めてくださるので嬉しかった。また、一つ一つの動きを丁寧にやりながら教えてくださるので、難しい足の動きもうまくできるようになった。本番の運動会では、緊張せずにできた。たくさんの拍手をもらって嬉しかった。来年ももっと練習し、上手に踊れようがんばりたい。(5年女子)
- ・ 3年目だったので、踊り方はだいたい覚えていた。練習では、4年生に分かりやすく教えた。4年生もいっしょうけんめい覚えてくれた。三人組が難しくて大変だったけど、何回も練習して、本番の運動会でミスなくやれたので、とてもいい思い出になった。(6年男子)

【保護者】

- ・ 毎年、運動会で披露される棒踊りを、家族も地域の人たちもとても楽しみにしている。厳しい残暑の中での練習なので、大変だと思うが、伝統ある棒踊りを受け継いでいくのは、大切なことだと思うので、これからも続けてほしい。

【保存会】

- ・ 今年は、昨年より、踊りの覚え方もよかった。声もよく出ていた。相手に合わせながら棒を打つのは大人でも難しいのに、子どもたちはよく覚えて、三人組も上手にできるようになった。一生懸命覚えようという気持ちが伝わってくるので、教え甲斐もあった。今後もお手伝いをしていきたい。

【教員】

- ・ 昨年棒踊りを初めての経験し、地域の方々から大きな拍手をいただくことができた。今年も昨年同様、保存会の講師の先生が指導していただき、充実した練習ができた。
また、上級生が下級生に教えるのも、伝統を受け継ぐ意味で非常に良い学習の場になっていると思った。本番では、子どもたちといっしょに踊って、よい思い出をつくることができた。